

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

フック付き灌流ハンドピースの有用性の検討	
1. 研究の対象および研究対象期間	2024 年 10 月 1 日から 2027 年 10 月 1 日に昭和医科大学病院附属東病院でフック付き灌流ハンドピースを使用して白内障手術または前部硝子体切除術を施行した 20 歳以上の患者さん
2. 研究目的・方法	白内障手術や前部硝子体切除術において散瞳不良例に対する皮質吸引手技は難易度が高く、虹彩拡張デバイスを使用する必要がある場合があります。しかしこの使用にはコストがかかり、新たな切開創作製が必要であるため余計な手術侵襲を負担させてしまうといった問題があります。 このような症例に対してフック付き灌流ハンドピースを使用することにより、虹彩拡張デバイスを使用せずとも手術が施行可能となります。 今回、その有用性を診療録情報を用いて検討することを目的とします。
3. 研究期間	昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028 年 4 月 1 日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類	患者背景、手術時間、術中合併症、術後合併症、術後角膜内皮細胞密度減少率、術後視力
5. 外部への試料・情報の提供	該当いたしません
6. 研究組織	研究責任者 研究機関名：昭和医科大学医学部眼科学講座 氏名：浅野泰彦

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学医学部眼科学講座 氏名：浅野泰彦

住所：東京都品川区西中延 2 丁目 14-19 電話番号：03-3784-8553